

競技上及び審判上の注意

1. 競技規則は、令和6年度公益財団法人日本バドミントン協会競技規則、同大会運営規程及び同公認審判員規程による。
2. 試合進行は流し込み方式とします。タイムテーブルの時間とコートは目安になります。
3. 選手変更はいかなる理由でも認めません。
4. 選手はコールがありましたら、ただちに選手集合所に集まってください。
5. あいさつの後、6人で2分間練習を行います。その後試合を始めます。
6. 試合 開始のコール後、5分以内にコートに入らない場合は、「棄権」とみなします。
7. 得点は、11日（土）予選リーグは15点3ゲーム（延長ゲームはありません。）
12日（日）は21点3ゲーム（延長ゲームはありません）とする。11日、12日とも2ゲーム先取とする。インターバルは第1ゲームと第2ゲームの間は60秒、第2ゲームと第3ゲームの間は60秒とする。
8. 試合進行状況により、試合開始時間及びコートの変更がありますので、放送に注意してください。
9. 主審は埼玉県が行います。線審と得点係は、試合をする6人のチームで担当してください。
10. 競技中の負傷については、本部はその責任を負いません。
11. 場内は土足厳禁です。
12. ゴミは各自で持ち帰ってください。
13. 各自の持ち物は、各自にて責任を持って保管すること。もし、紛失盗難などがあったとしても本部は責任を負いません。
14. 予選リーグの試合順序の組合せは、
例えば、5Mの①と②の6人がコートに入ります。
5M A・B・Cとすると A対B 試合1 B対C 試合2
A対Cを試合3とする。
5M ①の3試合 ①-1 ①-2 ①-3
②の3試合 ②-1 ②-2 ②-3
試合順序
第1試合①-1 第2試合②-1 第3試合①-2
第4試合②-2 第5試合①-3 第6試合②-3
とし、試合をしてないもので、線審・得点係をして下さい。
※4人のところはリーグ戦を行いません。
A・B・C・Dとすると
第1試合 A対B 第2試合 C対D
第3試合 A対Bの敗者とC対Dの敗者
第4試合 AとBの勝者とCとDの勝者で行います。
15. 試合が連続した場合は、予選リーグでは5分間のインターバル、決勝トーナメントでは試合が終了した時点から10分間のインターバルをおきます。
16. リーグ戦での同率の順位決定は、①ゲームの勝敗 ②特失点差 ③勝得点率の順とする。